

「生まれてきてよかった」を支えるために

平成28年1月17日

家族並びに施設職員研修会

あさひが丘学園 宇都 裕也

本日のテーマ

私の勤める『あさひが丘学園』は、昭和33年に開設以来、57年間にわたって知的障害や発達障害のある児童や成人の方々の支援を行ってきました。

今日は、「生まれてきてよかった」を支えるためにどのような支援が必要か、私が普段関わっている人たちが生まれてきてよかったと感じる人生を支えるために大切だと思うことを話したいと思います。

「生まれてきてよかった」を支えるとは

- ・当然のことですが、障害がある子どもと障害がない子どもとの間に人間としての価値に差があるわけではありません。
- ・この世に生まれてきたすべての子どもには、その子なりの人生を生きていく権利があり、それぞれの人生に優劣の差はありません。
- ・一方で、障害のある子どもが成長・発達していく過程では障害のない子どもが必要としない様々な支援が必要です。

「生まれてきてよかった」を支えるとは

・障害のある人たちが、「生まれてきてよかった」と思えるような人生を送ること、また、その親が「この子を産んでよかった」と思えるような気持ちになること、それを実現していくために彼らが必要としている様々な支援を行っていくことが、私たちの使命です。

・そのためには、障害のある人たちが住み慣れた地域社会の中で障害のない人と共に生きていける社会を創ることが必要です。

①あさひが丘学園（事業説明）

**②生まれてきて良かったを
支えるために必要なこと
（現場の職員から）**

1. あさひが丘学園の実施事業

1. 障害児入所施設（入所40名・短期入所4名）
2. 障害者支援施設（入所40名・生活介護75名・短期入所4名）
3. 地域生活支援センター
 - ①児童発達支援センター(定員20名)
 - ②放課後等デイサービス(定員20名)
 - ③保育所等訪問支援
 - ④居宅介護・重度訪問介護・行動援護
 - ⑤就労継続支援B型(定員20名)
 - ⑥グループホーム(6ホーム・定員34名)
 - ⑦指定一般・特定・障害児相談支援事業
 - ⑧日中一時支援・移動支援
4. 児童発達支援事業2か所(定員30名)・放課後等デイサービス(定員10名)

利用契約者数

平成27年4月1日現在

サービス名	児童	成人	合計
入所(契約)	17	40	57
入所(措置)	12	0	12
入所小計	29	40	69
生活介護(通所)	-	50	50
短期入所	115	95	210
居宅介護	24	43	67
行動援護	14	8	22
日中一時支援	107	70	177
移動支援	34	67	101
就労継続支援B型	-	24	24
児童発達支援(歩路)	41	-	41
児童発達支援(セルク)	90	-	90
児童発達支援(トリア)	27	-	27
放課後等デイサービス(我路)	81	-	81
放課後等デイサービス(トリア)	13	-	13
保育所等訪問支援(歩路)	42	-	-
保育所等訪問支援(セルク)	54	-	-
保育所等訪問支援(トリア)	22	-	-
グループホーム	-	34	34
相談支援	199	328	527
在宅小計	863	719	1582
合計	892	759	1651

職員体制

	園長	副園長	サビ管	支援員	保育士	看護師	栄養士	専門職	事務員	業務員	計(延数)
あさひが丘学園	1	1	1	8	11	1	1	—	1	—	24
あさひが丘			2	39	—	1		—	2	5	50
我路	1 兼務	1	1	8	6	—	—	4	2	1	23
とわ			—	3	—	—	—	—	—	—	3
グループホーム			2兼務	10	—	—	—	—	—	—	11
あすもね			1	4	—	—	—	—	1	—	5
相談支援			—	2	—	—	—	—	—	—	2
セルク	1 兼務	—	1	1	5	—	—	3 兼務	—	—	7
トリア		—	1	1	4	—	—		—	—	6
計(実数)	1	2	8	77	25	2	1	4	5	6	131

平成27年4月1日現在(非常勤職員含む)

* 専門職は、臨床発達心理士(常勤)、理学療法士・言語聴覚士・作業療法士(非常勤)

障害児入所施設あさひが丘学園（昭和49年移転）



障害者支援施設あさひが丘（平成11年9月開設）



地域生活支援センターあさひが丘（平成24年10月開設）



グループホームあさひが丘



花梨(本名町)



くるみ(岡之原町)



ももか(岡之原町)



つばさ丸(岡之原町)



四郎丸(岡之原町)



とんぼ丸(岡之原町)

ワークショップあすもね(就労継続支援B型)



こどもサポートセンター我路

児童発達支援「歩路」(ぽろ)・放課後等デイサービス「我路」(がろ)
「地域生活支援センターあさひが丘」内



ガーデンキッズセルク(平成24年7月開設)

児童発達支援事業(マルヤガーデンズ内)



ガーデンキッズトリア（平成26年4月開設）

児童発達支援事業・放課後等デイサービス（呉服町）



常に変化し続ける（制度から支える）

- 障害児者やその家族が必要としているものはその時代状況の応じて変化します。その時代に「必要とされるものを提供し続けていくことが、必要とされる施設になる唯一の方法」です。逆の言い方をすれば、必要とされるものを提供できない施設や、必要とされないものを提供している施設は、いずれ必要とされなくなります。このような考え方のもとに、あさひが丘学園はこれまでの57年の歴史の中で、その時代に応じて必要とされるさまざまな事業を展開してきました。

平成27年3月

ぎやらりーASAHIYA★オープン★



作品をたくさんの人にみてもらいたい



あさひが丘乗馬クラブ「シュバル」

(平成27年10月よりプレオープン)



障害児入所施設 あさひが丘学園(小規模化)

- 小規模化施設 H28. 6月頃完成予定
- 大きな集団から小さな集団へ
(手段であり目的ではない)

⇒目的 「子どもをしっかりと育てる」

さまざまな事情で家庭で生活できない子ども達
家庭的な雰囲気の中で日々の暮らしを丁寧に営む。

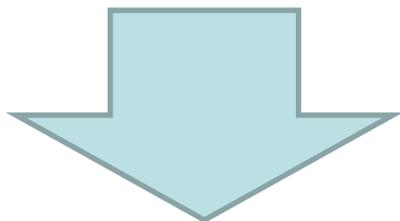
サービスから「生まれてきてよかった」を支える

2. 「生まれてきてよかった」を支えるために必要なこと

利用者

家族

職員



支える人たち、みんなが

笑顔



笑顔から考えること

①あさひが丘学園のサービスを利用している利用者や家族の方々が**笑顔**であること

⇒楽しい生活（入所サービス）

魅力ある活動（生活介護など）

困った時に助けてくれる（各種サービス）

②あさひが丘の職員が**笑顔**で働いている

⇒利用者・家族の安心感

利用者の方々が、

笑顔になるために必要な支援

- **健康**
- **やりがいのある仕事・役割**
- **余暇**

健康

- ・健康の維持・管理
- ・医療機関との連携（あさひが丘学園の協力医療機関）
 - ・うえはらクリニック
 - ・やまだメンタルクリニック
 - ・口腔保健センター など
 - ・生活介護でのリハビリ
 - ・やまびこ医療福祉センターへの通院・リハビリ

ブラッシング指導



リハビリプログラム

仕事・役割

・魅力ある生活介護・プログラムの提供

①就労系、②創作系、③リハビリ系



・工賃支給、利用者への還元

生産活動系



創作系



リハビリ系



療育系



作品一覽



○還元方法

・就労系（工賃支給）

利用者一人当たり**51,355円（H26年度）**

・リハビリ系

余暇支援（クリスマスなどの行事月など）で還元

○一人ひとりの役割（毎日のやりがい）

・活動の挨拶 ・おやつ配る など 役割はいろいろ

工賃支給の様子



自分の人生を楽しむための余暇

- 施設での行事
- 地域行事への参加
- 余暇支援
 - 日々の余暇
 - 旅行（小グループ旅行・日帰り旅行）
 - 休日の余暇
 - ランチ外出など

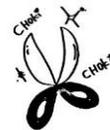
12月イベントカレンダー						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 高木バンド コンサート
6 YPO コンサート	7	8 紙飛行機づくり 10時~11時 ゆうぞしつ ゆき ゆき さん	9	10 誕生日会	11	12
13	14 訪問 理容	15	16	17	18	19
20 動く散髪屋 さん	21	22	23 天皇誕生日	24 終業式	25 学園忘年 会	26
27	28	29	30 ミニコンサート 15時~16時 しゅくどう おみこ ひでゆき さん たけまつ みさき さん	31		



カラオケ



ペーパークラフト



『生まれてきてよかった』と思うためには

- ①健康であること**
- ②やいがいのある仕事、役割があること**
- ③日々の生活に楽しみがあること**



- ・サービス提供する私たちの支援力**
- ・周囲の協力者が必要**

私たち職員は・・・

①健康（心身を良好に保つ）

ストレスをためない

②未来をイメージする力

（制度、生活、活動、自立支援など）＝ 自己研鑽

③利用者の方々と喜び、達成感を味わう

（職員のやる気 ＝ サービスの安定）

④周囲の方々の協力

利用者、職員、保護者、地域の方々、学校、医療機関
など、たくさんの方々の協力が必要である。

一番の協力者 = 家族

『あさひが丘 保護者会の活動』

- ・保護者ボランティア
- ・保護者、職員懇談会
- ・新任職員との懇談会



あさひが丘サポーター制度



- 主旨

私たちが、より地域での活動を広げるために職員だけでなく、地域の方々にも「あさひが丘」の取り組みを理解、応援する人たちの輪を広げる取り組みとして平成27年11月よりあさひが丘サポーター制度をスタートさせました。

【サポーターの皆様をお願いしたいこと】

例えば…

- ダンス、音楽等の特技を活かした利用者との交流
- 秋まつり・運動会・各種バザー等の行事の際のボランティア
- 利用者と時間を一緒に過ごしてもらう……………etc

音楽療法



アニマルセラピー



地域の協力者

定期演奏会



地域の企業

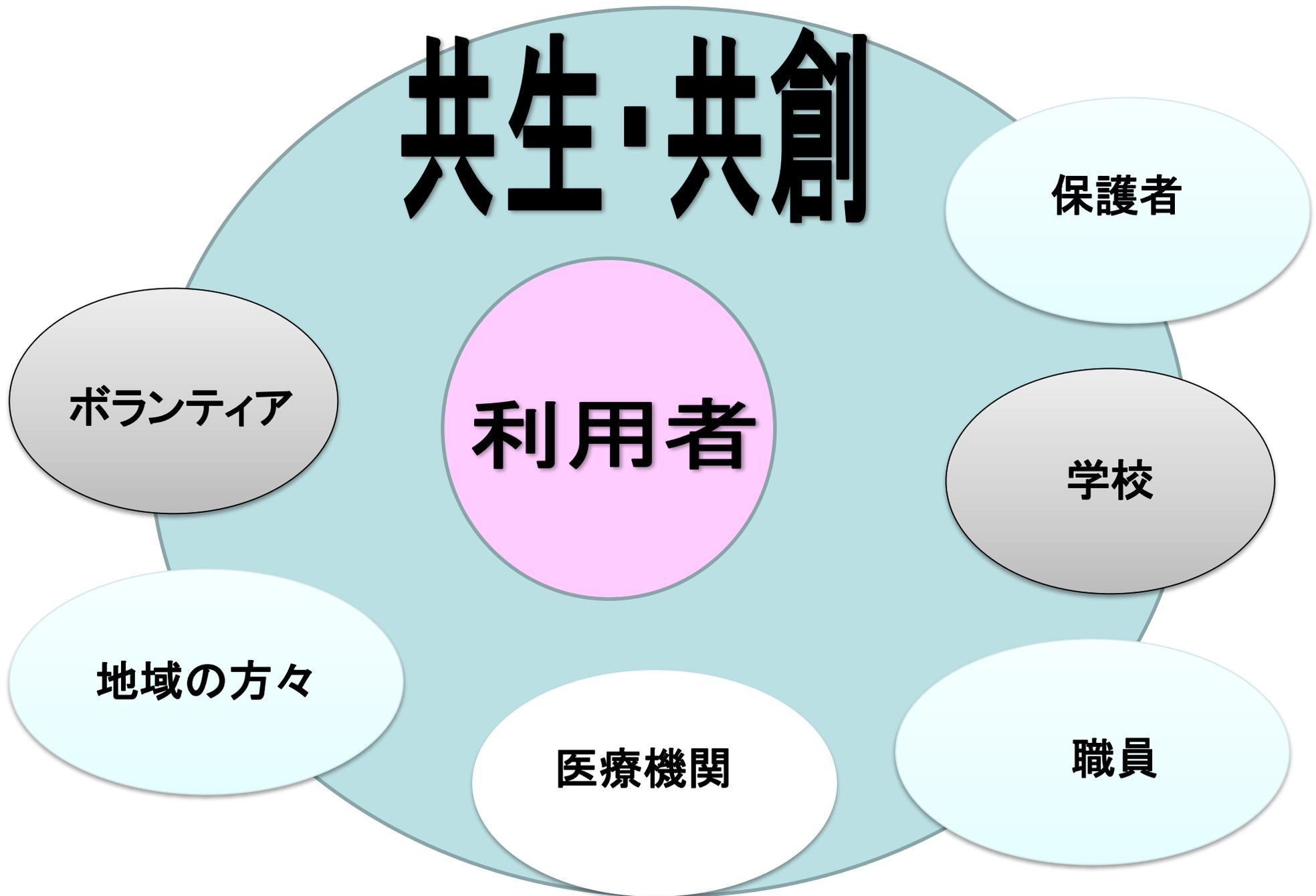




地域の協力者



共生・共創



最後に・・・

障害のあるなしに関わらず、今日のこの日、この瞬間を「生まれてきて良かった」と感じられるように今日から、また努力をしていきたいと思っています。

そして、この研修で、知り合った「縁」を大切に、家族・職員みんなで目の前の人たちが「生まれてきて良かった」と思えるように支えていきましょう。



笑顔



ご清聴ありがとうございました



<http://www.asahigaokagakuen.jp/>